

令和7年度 とも園評価書

堺市立登美丘東とも園

教育・保育理念

- ・自分も友だちも大切に育む心身の育成
- ・学びの芽の育成
- ・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成

園の重点項目

子どもが愛されていると感じ、人との関わりの中で主体的に遊び、あきらめないで取り組む力を育てていく

令和7年度 重点内容

- ・安心して生活を送る中で自己肯定感、お互いを尊重する心を育む
- ・夢中になって遊ぶ経験から、気づきや学びとる力をつける
- ・家庭に合わせた子育て支援を行い、子どもを支える
- ・小学校や地域と連携をはかり、育ちを支える
- ・職員の資質や危機管理意識の向上

重点内容	重点内容に向けた具体策	評価項目	評価	自己評価	評価	とも園関係者評価
安定安心、してお互いの生活を尊重する中で心を己育	愛されている実感を持ち、それぞれの命と一人一人の思いや人権を大切に育む取り組み	・発達過程に応じ個人差に配慮しながら発達を保障する ・人との関わりを通してお互いを尊重し合えるよう人権を大切に育む心 ・お互いの違いを認め大切に共に育ち合うクラスづくりを行う ・こどもの気持ちに寄り添い思いを受け止め自尊感情を育てる	A	一人一人の思いを汲み取り丁寧に関わる中で自分の気持ちを安心して表現できる関係を築くことができた。様々な取り組みの中で、友達との関わりも広がり、協力し共に育ち、互いを認め合えるクラス作りを行えた。身辺自立では一人一人の発達に応じて対応してきたことで基本的なことが身につけられている。気持ちカードを使って自分の思いを伝えたり、活動の振り返りを行ってこれた。後半は異年齢交流が深まり、思いやりの気持ちが育ってきている。	A	安心して生活できる環境のもと、保育教諭がこどもの発達過程や個人差に応じた丁寧な関わりをする中で、自己肯定感や互いを尊重する心が育まれている。気持ちカードを活用し、自分の思いを表現する機会を持つことで、その思いを確実に受け止めたり、遊びや日々の関わりで生かされている。異年齢保育も有効であり、互いを思いやり認め合う経験が積み重ねられたり、憧れの気持ちも芽生えたりしていると感じた。園での出来事や表現しきれなかった思いも保護者に伝え、家庭と連携しながら自立へとつなげている。
	基本的な生活習慣の自立と意欲的な生活に向けた安定した生活の保障	・友だちと関わりながら、こどもが主体的に生活することで生活習慣を身につける ・家庭と連携し基本的な生活習慣を身につける ・集団生活の中でルールを守ったり自分の気持ちや感情をコントロールする力を身につける	A		A	
	多様性を認め合い、色々な人との関わりの中で思いを出し、コミュニケーション力を培う活動	・異年齢交流やいろいろな経験を通して協調性や思いやりの気持ちを育てる	B		A	
夢中になる気づきや遊びと経験力を	園の自然や地域の環境、菜園活動を活かし、好奇心・探求心や豊かな情緒・表現力を培う活動	・自然とのふれあいや実体験を大切に遊びや生活を充実させる ・季節を感じ生活を豊かにする活動や次へつなげる取り組みを行う	A	身近な自然や年間を通じた散歩や栽培活動・飼育活動など季節を感じられる様々な実体験を通して、好奇心や探求心が育ち意欲的な姿が多く見られた。こどもの気づきを大切に継続して主体的に取り組める活動を今後も考えていく。年間を通じて計画的に運動遊びやリズム遊びを取り組み、後半はアートヨガを取り入れ、体幹やしなやかな体づくりを行えた。	A	夢中になって遊ぶ経験を通して、こどもが自ら気づき、学び取る力を育てようとする保育が丁寧に展開されている。また身近な自然や栽培活動、様々な色を使った活動などを通して調べたり考えたりする力も養われ、友だちと協働して行うことで、高い満足感が見られ、学びの質の高さに感心させられた。身近に絵本に触れ、物語世界と実体験が往還する豊かな学びも生まれている。身体を使った様々な運動遊びやアートヨガなどでしなやかな体と体幹が育てられている。
	よく見、よく聞き、しっかり考え、主体的に取り組む、仲間と共感しあえる活動	・こどもの気づきや関心を大切に、探求心や主体的に取り組める環境(人的・物的)を提供する ・友だちと目標を共有して関わり合い、協力してやり遂げ、満足感・達成感を味わうような教育・保育を保障する	B		A	
	友だちと共にならぶり体を動かし、しなやかな体と体力を培う活動	・リズム遊びや様々な運動遊びを通して体幹を育てるしなやかな体づくりを行う ・自分の体を大切にできるよう教育・保育の中で安全教育を行う	A		A	
家庭を支え、育てる子と保護者を	様々な家庭状況や一人一人の保護者の思いに寄り添い保護者が決定し得る関係作りと支援	・家庭環境やニーズを受け止め、保護者のこどもへの思いや考え方を尊重し、信頼関係を築いていく。また就学前と就学に向けて培う力のつながり等も伝えていく。	A	送迎時や個人懇談等でこどもの姿を伝え保護者の思いを受け止め関係を築いてこれた。毎日写真を付けた活動記録を配信したり、行事では親子で楽しめる内容を工夫し行えた。	A	キッズビューでの記録やフォトニュースをなどで具体的にこどもの様子や成長を伝えたり、送迎の時間を対話の機会としたりし、家庭の状況に寄り添い、こどもを中心とした保護者との連携を丁寧にやっている。
	保護者自らが子育てが楽しいと思え、親子が良い関係で向き合える行事等の工夫	・保護者自らが子育てを楽しみたいと思えるように、行事等の内容を工夫したり、活動の様子等の配信を充実させる	A		A	
小学校や地域と連携を	接続期の教育・保育内容の検討など小学校と職員間の意見交流	・様々な連携を通してお互いが大切にしている目標や方法を理解する機会を持ち園児の姿や育ちをつなげる	A	保幼小連携事業をして小学校や他園との交流も深まり、お互いの目標や方法等を知る機会も増え、就学前の園児の姿や育ちにつながってきている。園庭開放での取り組みも充実し地域の子育て支援につながっている。	A	保幼小連携事業を通して、こどもの育ちを共有したり、公開保育や研究授業など実施のみに終わらず、課題と成果を振り返り次年度へ生かす姿勢が見られたり、小学校との架け橋となっている。園庭開放や地域サロンに出向き交流し子育て支援を行っている。
	日々の地域等の交流やつながり作り、散歩内容などの充実	・幼小交流や地域との交流を通し、豊かな生活体験を得られるようにする	A		A	
	地域の親子が交流できる場や相談できる場の提供	・園の機能を発揮し地域に必要な子育て支援を実施する	A		A	
職員意識の質や向上危機	教育・保育の質の向上を図る充実した園内研修等の実施とチーム力の向上	・教育保育理念や目標、指導計画等、職員同士が共通理解し、子どもを中心とした視点で話し合い、チーム力向上につなげていく ・職員同士が学び合える園内研修等を充実させ、教育・保育内容の向上を図る ・毎月の訓練やリスク委員会等で振り返り、危機管理に対する知識や対応力を身につける	A	園内研修や全クラスの公開保育を行う中で、職員同士で学び合い、園の教育・保育内容やチーム力の向上につながっている。毎月のリスク委員会等で安全対策の検討や様々な訓練を通じて、職員の危機管理に対する対応力が高まってきた。	A	公開保育を通して職員が互いに学び合ったり、保育と授業のつながりを丁寧に確認したりし、子どもの育ちを共に考える機会となっている。また職員同士の連携も心掛けている。怪我防止の工夫や暑さ対策、880万人訓練など真摯に取り組む、危機管理意識の高まりにつながっている。
	危機管理やあらゆるリスクに対応できる力や知識の習得	・園内の環境整備や災害対策等を考え改善したり、安全教育を実施する	A		A	

今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
たくさんの人との関わりの中で自分の思いを出し、伝えられる力や相手の気持ちに気づき、コミュニケーション力を育てていく。	人との関わりの中で、話を聞いたり相手の思いに気づけるよう、今後も気持ちカードを使った取り組みを継続したり、自分の思いをしっかり伝えられる様々な豊かな経験を積み重ねていく。
様々な活動の中で自分で感じたり思ったことを伝えたりし、主体的に取り組めるクラス作りを行う。	こどもの気づきや好奇心を大切に、意欲的に取り組める環境(人的・物的)作りを行えるよう、色々な手法や手立てを園全体で考え、教育・保育の質の向上につなげていく。

園長より

今年度は、園の取り組み等により多く参加していただける工夫や保護者とこどもと一緒に楽しめる行事の工夫をしながら、保護者の方々との協力のもと1年を過ごせることができた。またこども一人一人思いや姿を大切に丁寧な関わりや職員のチームワーク、質の高まりなど評価をいただいたことをもとに、次年度も引き続き課題に向き合って取り組んでいきます。